

直腸の手術を受けられる方へ(2日前入院)

入院診療計画書

作成日:

ID		患者様名				病名	☐ 大腸癌 ☐		特別な栄養管理の必要性		☒ 無 ☐ 有		★退院指導★			
看護師		薬剤師		栄養士		症状	☐ 特になし ☐		リハビリ計画		☐ 無 ☒ 有		外来診察医・診察日			
理学療法士						手術日			時予定		総合的な機能評価		()			
日付														20 年		
経過	入院日	手術前日	手術前	手術後	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	術後7日目	術後8日目	術後9日目	術後10日目以降	月 日	
目標	不安を医療者に伝えることができる				痛みが最小限で安楽に過ごせる		術後早期離床できる		食事療法が理解でき、段階的に摂取を進めていくことが出来る		日常生活に戻ることができる		退院後も生活が理解できる		時 分	
点滴	ありません	午後より点滴を開始します	 持続点滴があります 痛み止めの点滴があります				抗生剤のみ継続となる場合があります		点滴終了です						大腸癌術後の予定 パンフレット持参忘れずに	
内服	抗凝固薬・糖尿病薬は医師の指示にて中止となります	朝から抗生剤が始まります 昼から下剤が始まります	()時に指示のある薬のみ少量の水で内服してください	ありません		医師の指示により内服薬が開始となります 指示があるまで服用しないでください 糖尿病薬・抗凝固薬は指示があるまで服用しないでください 飲水が開始になれば、痛み止めは内服薬となります				排便が3日以上ない場合や下痢が続く場合は医師と相談し薬剤を検討しますのでお知らせください						検査内容・予定日 ()
検査	特にありません						採血があります	ありません	採血があります	ありません		採血があります	ありません		20 年 月 日 時 分	
処置	臍をきれいにします		ありません	心電図モニター・酸素下肢に深部静脈血栓予防の機械をつけます (手術後の状態をみながら外します)		心電図モニターを外します		適宜、体温や血圧測定を行い、傷の観察を行います お腹に管が入ってきた場合は管からの排泄の性状・量の観察を行います 術後2日目に傷のテープを剥がします							□ 大腸癌術後の予定 パンフレット渡し済みか確認	
活動	 制限はありません		手術着へ着替え 血栓予防の靴下を履きます 靴下は入院日に渡します		ベッド上での安静ですが、体勢をかえることは可能です ご希望の際はナースコールでお知らせください		痛みは鎮痛剤でコントロール 積極的に離床しましょう 最初は看護師が付き添って歩行します		日常生活を取り戻すため適度な運動、散歩などしましょう 積極的にリハビリに参加してください 体を動かすこと(離床)により腸閉塞やエコノミー症候群、傷の感染などの予防になります 血栓予防の靴下は歩行ができれば脱ぎます						退院時のお薬 有 ・ 無 ストマ外来の予約 有 ・ 無 次回外来までは禁煙・禁酒してください	
食事	制限はありません	昼から濃厚流動食に変わります 夕食後から絶食となります	水分は()時から中止です		絶飲食です		医師の許可により飲水を開始します		絶食です 飲水可能です		食事開始後、お腹の痛みや、吐き気張り等があれば、食事は摂取せずに看護師へお知らせください ゆっくりよく噛んで、食事摂取してください		退院前に栄養士から栄養指導があります		過度な腹痛、傷の異常(赤み・腫れ)や高熱が出た場合は外来受診をしてください	
清潔	シャワーに入って頂きます		歯磨きをしてください		肺炎予防のためうがい・歯磨きは毎日しましょう お手伝いします		体を拭きます		お腹の管が抜ければシャワー浴が可能です。 傷は優しく泡で洗いましょう(初回は看護師が説明します) 毎日洗うことで治りが早くなり、創からの感染の予防になります							適切な運動、水分補給を心がけて、便秘に気をつけましょう
排泄	制限はありません		トイレを済ませてください		手術中に尿の管が入ります 排便する際はベッド上での排泄となります		医師の許可があり、離床ができれば尿の管を抜きます 抜いた後に痛みや血尿、尿の出にくさがあればお知らせください		離床してお腹が動き始めることでガスや便が出始めます							上記の症状があれば下記に連絡してください
指導	分からないことや不安なことあれば遠慮なく看護師に聞いてください ※人工肛門造設の場合は造設する予定箇所に印をつけます		看護師が手術室にご案内します ご家族は手術開始予定の30分前には病棟にお越しください		翌日歩行できるようになるまで足首を動かす運動をしてください 痛みは我慢せずお知らせください 痛み止めを用意しています		★痛みに対して不安がある場合は相談して下さい★ 何かあれば遠慮せずナースコールを押してください		人工肛門造設された方には退院後の生活に関してパンフレットをお渡しします 退院後はストーマ外来の受診があります 傷の痛みは残ることもありますが日ごとに軽減すれば問題ありません 痛みが続いたり赤みや腫れが続く場合はご相談ください							緊急連絡先 072-469-3111 平日 8:45～17:00 Bブロック 時間外は救急外来
説明	麻酔科医や手術室看護師からの説明があります 手術や麻酔の同意書にサインをしてご提出してください その他の書類もご提出をお願いします		指輪・時計・入れ歯 コンタクト・ヘアピン 湿布類は外してください 化粧・マニキュアは落としてください 長髪は束ねてください		麻酔から覚めるまで数時間かかります 付き添いをされたご家族に駐車券をお渡しします お帰りの際に看護師まで声をおかけください		活動量を上げましょう 腸の運動が活発になり、傷の治りが早くなります		人工肛門造設または肛門に管が入ってくる場合があります 人工肛門が造設された場合は便の捨て方や袋の交換の方法などの指導を行います 退院後、ご自身で管理ができるように、袋の注文方法や退院後の生活について説明します				医師の許可で退院となります 平日午前中の退院でお願いします 精算や次回受診日退院処方などの説明を聞いてからお帰りください			

※上記内容は現時点で考えられるものであり、今後変わり得る場合があります。 ※何かある時には遠慮せずにナースコールを押してください※ りんくう総合医療センター 8海病棟 作成:2015.03 改訂:2026.09

説明日: 20 年 月 日 主治医(説明医): (署名もしくは捺印)

完成後はコピーを1部取り、病棟用ファイルに入れ、原本を患者様にお渡し下さい。

本人/家族等: 続柄: